



かさおか輝き新聞

～坂本りょうへい市政報告～

発行：令和3年7月
発行責任者：坂本りょうへい
岡山県笠岡市大宜605
電話：0865-66-1818

新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発出され、日常生活の流れが停滞する状況となりました。飲食店を含む業界にも大きな影響が出る中、我々の生活のやり方にも変化が出ています。コロナワクチンの接種も進む中、アフターコロナに向けて準備をしていかないといけない感じています。

まずは住むまちの情報をしっかりと発信し、皆様と一緒に故郷づくりを進めています。ここに6月定例議会が終了しましたので報告をさせていただきます。



6月定例議会（会期 6/1 - 6/24）

この度の6月定例議会は、緊急事態宣言下の中、招集され開催することになりましたが、継続した市政運営を行うためにも議員も体調管理や三密防止には細心の注意をしつつ議会へと向かいました。今議会では6月補正予算を審議し、補正予算2億8,887万円のうち1億2,976万円を削除した予算を修正可決しました。これにより当年度予算は、242億8,356万円となります。

【主な補正予算事業を紹介します】 ◆はコロナ対策予算

◆救急艇導入事業／210万円

継続事業である救急艇整備にあたり船体材質の比較検討と基本設計にかかる予算の計上。

◆家族介護慰労金給付事業／125万円

在宅の寝たきりの高齢者及び認知症高齢者の介護を行う者に対して慰労金を追加支給する事業。慰労金5万円

◆子育て世帯生活支援事業／3,692万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け子育て世代（ひとり親以外）の生活を支援する。

◆保育環境改善等事業／1,053万円

感染症対策の強化を図るために、感染防止のための消毒液等の物品を整備する事業。（対象：保育所・認定こども園・地域型保育事業所・認可型保育施設）

◆抗原検査キット配布事業／539万円

感染陽性者が発生した場合に、その属する学校や事業所・社会福祉施設等に抗原検査キットを状況に応じて配布し感染拡大防止を図る事業。500名分

◆プレミアム付商品券事業／320万円

プレミアム商品券の2次販売に向けた追加費用を計上。



◆飲食店等一時支援金給付事業／7,150万円

新型コロナウイルス感染症の拡大により長期にわたり厳しい経営状況が続いている事業者に対して一時金を給付する事業。対象者：小規模事業者、個人事業者で岡山県飲食店等一時支援金を交付を受けている事業者。

受付期間：令和3年7月～令和4年1月

給付額：10万円 条件：令和3年4月～7月で30%ダウンしていること（詳細は商工観光課まで）

坂本の目

この支援金は早い段階で考えるべきものであったと感じます。また本事業予算の支出が新型コロナに対する国庫支出金だけでなく財政調整基金から4,647万円繰入れされています。これまで議会からはコロナ対策予算の優先順位等要望をしてきましたが財政調整基金を切り崩す結果となり複雑な感をいたしております。

【削除した案件について以下の通りです】

①市制70周年記念事業／2,000万円（債務負担処理）

来年の市制施行70周年の式典や事業に対して年度をまたぐものとして大枠2,000万円を計上。

70周年を否定するものではなく、企画委員会が今後内容を精査しながら積み上げ方式で予算計上してほしいこと。また60周年で2,500万円の費用がかかったからを理由にせず、10年前と現在の財政状況を加味した予算計上を検討するようにとしました。

②分庁第二解体事業／1億2,050万円（ローリー横建物）

耐震危険建物であり解体を目的として計上

当初7,000万円程度であった解体費用が度々増加している。跡地利用や工事における家屋調査費用など不明瞭な点が多く指摘をしました。



日々の活動報告を配信中



皆様の声、地域の声を教えてください。**kasaoka.mirai@gmail.com**

③笠岡市・里庄町相談支援センター移設事業／226万円

これまで包括支援センターとして設置していたが組織解体に伴い里庄町と合わせて相談支援をおこなっている。現在相談支援に支障をきたす状況であり移転再整備をするために計上。

福祉に係る事案であり早急な対応を理解する中、担当課及び指定管理者間等の調整が不十分であったため再検討をうながした。

坂本の目 本来削除すべき事案ではないと考えるが、説明事由にもまだまだ改善や整理調整する事項が多いということでした。限られた財源である以上、納得いく形で再検討いただき福祉向上のため早急な再提案を期待したい。

④農業振興施設改修事業／553万円

観光農園として活用予定である旧粗飼料生産供給基地の管理棟トイレの水洗、洋式化を計上。

市が民間事業者に貸し出している施設であり、前回コロナ予算での改修は不適当として削除した事案。市債ではなく民間事業者が利用する施設であれば使用者負担や県の補助金等を利用するべきとした。

⑤マイナンバーカード普及促進事業／2,500万円

コロナ対策予算としてマイナンバーの普及を目的としてマイナンバー取得された方に2,500円の市内共通券を配布するものとして計上。

マイナンバーカードの普及率をあげることはわかるが、コロナ対策費用を充当する事案として優先順位がマイナンバーカードで良いのか。大きく影響を受けた事業者に配分することが必要ではないかと指摘をした。

坂本の目 可決された飲食店等一時支援金予算について財政調整基金を繰入れている中で、コロナ対策の国庫支出金の予算計上も優先順位を考えるべきと感じる。

このように、様々な議案を審査し健全な市政運営へとつなげています。しかし、見方によっては「なぜ、これが？」と言われることがあるのも事実です。一つ一つを大切につつ、また全体をキチンと審査して参りますので引き続きご理解を宜しくお願ひ致します。

地域の声 改善報告（水路の改善）


側溝の修繕により排水機能の改善を行いました。
(市内2か所)

現在、崩落危険のある市有地について対策依頼中です。市内住宅地内通り抜け防止対策は地元のご理解により対応が完了しています。(ありがとうございました)

継続案件：地域団体設立のお手伝い、小中一貫教育についての説明・学校統廃合についての意識調査 他 多数

個人質問を行いました。

令和2年度人口動態は出生210人、自然減732人、転入転出を合わせ727人の減、46,886人となりました。平成27年からの5年間で4,400人が減少し県内でも減少率はワーストとなっています。こういった中で人口そのものを増やすことは非常に難しいとして関係人口や交流人口から持続可能なまちづくりについて質問をしました。

**【質問答弁内容抜粋】**

Q. 自然環境や立地など既存の資源を活用し関係人口増やす施策としてスポーツツーリズムが考えられるが市の見解を尋ねる。

A. 観戦型のイベントだけでなく、体験型のイベントについても、企画していく。また、笠岡市の物産や歴史などを巡る観光や宿泊をセットにしたツアーの企画など、スポーツ行事と観光をマッチングしながら、スポーツツーリズムを構築し交流人口、関係人口の増加を図っていく。

Q. 空き家対策として一定数を市の直営で整備しシェアハウスやサテライトオフィスとして活用し、関係人口の増加につなげ、雇用の創出につなげることができないか。



A. 多様な選択肢ができるように空き家登録へのハードルを下げる取り組みもえていきたい。

Q. デジタル化が進む中、笠岡市もインターネットから笠岡ファンを増やすことはできないか。

A. シティプロモーションの一つとしてツールを積極的に活用していく。昨年、オンラインイベントも開催し好評を得ている。またお試し住宅居泊まってみたい、来てみたいというつながりになっている。このような取組も大事だと思っている。

その他、島しょ部の救急搬送の実績から島しょ部医療体制の再構築や地元のまちづくり拠点についての減免など多方向から質問をさせていただきました。

**【お知らせ】**

議会の代表・個人質問の動画配信中です→

本年9月度より議会・委員会が生中継されますので審査過程等をぜひご確認ください。

坂本りょうへいは諸派かがやく未来の会を解散し、笠榮会(りゅうえいかい)に合流しました。

これにより所属する委員会にも変更となります。

所属する委員会：総務文教委員会、議会運営委員会、議会・行政改革特別委員会、笠岡湾干拓地内の臭気に係る条例策定特別委員会※初の条例を策定する委員会です。